

国道 8 号バイパス（田結～元比田）の早期計画策定 並びに整備に関する意見書

古来より交通の要衝として栄えてきた敦賀市において、国道 8 号は生命線である。北陸と関西・中京を結ぶ重要幹線道路として物流及び産業経済に貢献し、また、災害時における避難及び輸送ルートとして重要な役割も担っている。

しかし、本市北部に位置する田結から南越前町具谷区間（約 20 km）については、急峻な地形であるため、幅員が狭く、急カーブや急勾配が連続する区間となっている。

平成 27 年 2 月 9 日から 10 日にかけては、国道 8 号において約 10 時間以上の通行止めが発生、日本海国土軸の物流等に甚大な被害を及ぼした。また、本市においても、沿線住民の急病人搬送、医薬品の供給等に懸念が生じた。北陸と関西や中京をつなぐ交通の要衝において、大雪のたびに、このような事態となることは、北陸地方全体にとって、大きな損失である。

よって、本市議会は、市民の安心・安全を守るため、交通マヒの発生を防ぎ、安全で円滑な交通を確保するよう、次の事項について強く要望する。

記

- 1 国道 8 号バイパス（田結～元比田）の早期計画策定並びに整備

以上、地方自治法第 99 条の規定により意見書を提出する。

平成 27 年 3 月 9 日

敦 賀 市 議 会